

令和3年度
第6次小田原市総合計画
市民意識調査 報告書

令和4年(2022年)3月

小田原市 企画政策課

目次

1.調査の実施概要	1
2.調査結果	4
A. あなたご自身について教えてください	4
B. あなたが小田原市に対して持つイメージを教えてください	24
C. 小田原市のまちづくりに対する満足度と、重要度について教えてください	57
D. あなたの暮らしについて教えてください	68
E. あなたの幸福感について教えてください	189
F. あなたの考えを教えてください	195
3.回収方法による結果の差について	241
4.その他の分析	244
5.調査票	247

1. 調査の実施概要

(1) 調査の概要

- 調査対象: 住民基本台帳に記載されている18歳以上の市民3,000名
(無作為で抽出)
- 調査期間: 令和3年5月25日(火) ~ 令和3年6月9日(水)
- 調査方法: 調査票を郵送後、郵便およびオンラインで回収。
- 配布・回収:

配布数	回収数			回収率
	計	郵送	オンライン	
3,000 票	1,646 票	1,265 票	381 票	54.9%

<参考>

- ・アンケートについては、回答の信頼性を高めるための配布数を設定しています。下表は、本市の人口をあてはめた場合の、統計学上必要とされる「信頼度」と「誤差」ごとに必要な回収数です。
- ・国の統計調査基準で求められる回収数は、「信頼度 95%、誤差5%」ですが、今回の配布数(3,000)に対する回収数(1,646)は、「信頼度 95%、誤差3%」であり、国の基準を上回っており、高い信頼性を確保できる調査であると言えます。

		信頼度			
		90%	95%	99%	
誤差	3%	753	1,061	1,831	本調査は、この回収率を超えています。
	5%	271	383	663	国の統計調査基準で求められる回収数
	10%	68	95	166	

(2) 地域別の送付数

地域別の調査票送付数は次のとおりです。

なお、本調査では26ある連合自治会区域を、小田原市都市マスタープランにおける6つの地域に区分し、集計を実施しています。

	送付数	送付割合	人口*	人口割合
片浦地域	33	1.1%	1,327	0.7%
中央地域	1,011	33.7%	62,343	33.1%
富水・桜井地域	638	21.3%	40,420	21.4%
川東・南部地域	731	24.4%	46,677	24.8%
川東・北部地域	415	13.8%	26,287	13.9%
橘地域	172	5.7%	11,479	6.1%
合計	3,000	100.0%	188,533	100.0%

※人口は令和3年4月1日現在の数値です。

(3)年齢別の送付数

年齢別の調査票送付数は次のとおりです。

	送付数	送付割合	人口 ^{※1}	人口割合
10歳代 ^{※2}	72	2.4%	3,542	2.2%
20歳代	345	11.5%	17,247	10.6%
30歳代	367	12.2%	19,615	12.1%
40歳代	514	17.1%	27,400	16.8%
50歳代	484	16.1%	26,305	16.2%
60歳代	426	14.2%	24,849	15.3%
70歳代	503	16.8%	25,981	16.0%
80歳代以上	289	9.6%	17,718	10.9%
合計	3,000	100.0%	162,657	100.0%

※1 人口は年齢不明者を除く、令和3年1月1日現在の数値です。

※2 10歳代は18歳、19歳のみ。

(4)調査の設問項目

この調査は、次のとおり設問内容ごとに項目立て(A~F)を行い、全53問で構成しています。

A:あなたご自身について教えてください<11問>

性別、年齢、家族構成、住まいの地域、居住歴など

B:あなたが小田原市に対して持つイメージを教えてください<7問>

市への愛着、居住継続希望およびその理由、若者・女性活躍に関する市民の意識、総合計画の認知度など

C:小田原市のまちづくりに対する満足度と、重要度について教えてください<1問>

現在小田原市が取り組んでいる施策を30に分類し、それぞれの満足度、重要度について

D:あなたの暮らしについて教えてください<31問>

2030ロードマップで先導領域とした「医療・福祉」、「教育」、「企業誘致」、「環境・エネルギー」、「公民連携」、「デジタルまちづくり」に関する内容

E:あなたの幸福感について教えてください<2問>

自身の幸福度およびその幸福度の判断基準について

F:あなたの考えを教えてください<1問>

まちづくり全般に関する自由記述

(5) 報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を 100%として算出しています。
- 本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記しており、選択肢の割合の合計が 100%にならない場合があります。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が 100%を超えることがあります。
- 設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。